

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	インセーン・レヴ RG	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.482	△RG	0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール**

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4 1/2** インチ

番

研磨剤

**比較対照ボール：レヴ RG**

フレアーの幅  インチ

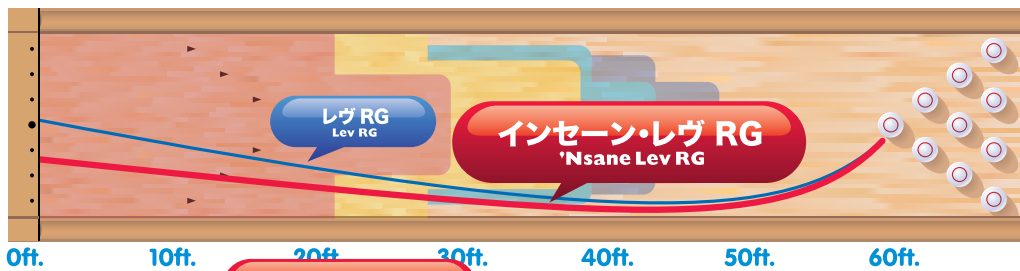
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

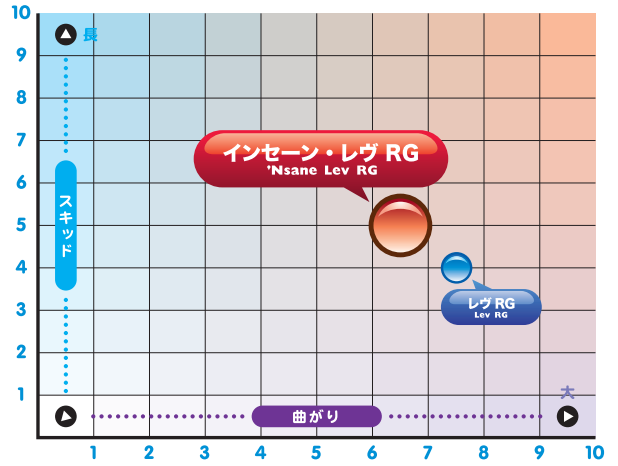
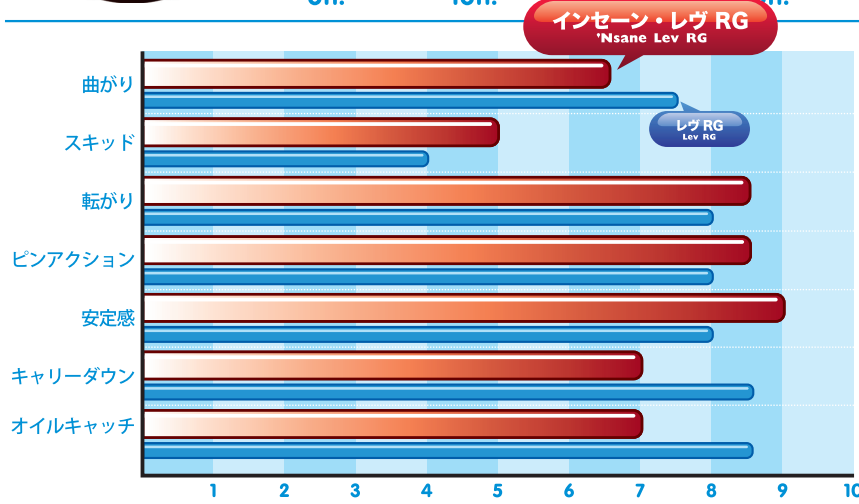
PAPからピンとの距離 **4 1/2** インチ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

最先端技術の結晶の体積を23%アップさせ上部に特殊なスタビライザーを搭載したコアで、コア自体が生み出す「ねじれ」効果を最大限に生かされるよう生み出された初代「レヴ RG」は、この「インセーン・レヴ RG」で更なるステージへと変革を遂げます。初代「レヴ RG」は強いコアに強いカバーストックの組み合わせで、曲がり始めも早く・緩やかな曲がり特徴的でした。しかし、バックエンドで劇的なリアクションを出す性能ではなく、オイルの中を泳がして使い、その中で軸移動を完了させピンヒットさせるオイリーなコンディションでその効力を発揮できるボールでした。

今回の「インセーン・レヴ RG」は**全く新しいRDX Pearlカバーストックを搭載し「レヴ RG」より直進力を強め、コア自体が持つエネルギーを持続できるよう設計されています。**投球した感じでは初代の「レヴ RG」より直進力がある為、ミディアムコンディション以上で使用でき、バックエンドでのリアクションは「レヴ RG」よりメリハリを感じました。このボールをドリルし、様々なコンディションで投球致しましたが、共通して言えるのは、このボールの性能を生かすのであれば**大きく出し戻すラインを選択するより、タイトなラインがこのボールの性能を発揮できるようです。**良く転がりピンアクションは柔かい。ボウラーのタイプで直線的にラインを攻める方には絶好な性能と言えます。私の場合はトーナメント中盤の段差の激しくなったコンディションで有効活用できる為、トーナメントに持ち込もうと思っています。

### 特記事項

**オイルの段差が激しく感じる時、またタイトなラインでスペシャルな性能を発揮できるボールです。**